

研究データは、 GakuNin RDMへ。

GakuNin RDM(がくにん アール・ディー・エム)は、国立情報学研究所(NII)が提供する研究データ管理サービスです。鹿児島大学の教職員は無料で利用でき、鹿児島大学IDでログインすれば今日から使い始められます。

1人あたり **利用料 無料**

最大200GB

100GB

GakuNin RDMの標準ストレージ

+100GB

学内の拡張ストレージ

OneDrive(100GB)とは別に使えます

GakuNin RDMでできること

研究テーマごとに整理する

研究テーマごとに「プロジェクト」を作り、データとメンバーをまとめて管理できます。

記録を残し、研究公正に備える

ファイルにタイムスタンプを付け、いつ存在したデータかを示せます。

学外の共同研究者と共有する

他の大学・研究機関の研究者も、プロジェクトのメンバーに加えられます。

複数の保存先をまとめて扱う

学内の拡張ストレージやOneDriveをプロジェクトにつなぎ、一つの画面で扱えます。

「学認(GakuNin)」とは 大学のIDのまま、学外の学術サービスにログインできる全国の仕組み(学術認証フェデレーション)です。GakuNin RDMもこの仕組みで、鹿児島大学IDでログインします。

5つのステップではじめる

利用料は無料です。ステップ5まで進めば、容量は最大200GBになります。

- 1 ログインする**
rdm.nii.ac.jp を開き、所属機関で「鹿児島大学」を選んで、鹿児島大学IDとパスワードを入力します。
- 2 アカウントを設定する(初回のみ)**
メールアドレスを認証し、氏名(日本語・英語)と所属を登録します。
- 3 プロジェクトを作る**
タイトルを入力して作成します。研究テーマごとに複数作れ、メンバーもプロジェクトごとに設定できます。
- 4 ファイルをアップロードする**
プロジェクトの「ファイル」で「NII Storage」を選び、ファイルやフォルダをアップロードします。
- 5 拡張ストレージをつなぐ(必要な方のみ)**
学内ネットワークからCloudian管理画面(CMC)にログインし、アクセスキーとシークレットキーを取得します。次にプロジェクトの「アドオン」で「S3 Compatible Storage」を有効にし、「Kagoshima University RDM Storage (Cloudian)」を選んでキーを入力します。

ご利用の前に

- 容量の上限に近づいても通知は届きません。使用量はプロフィール画面で確認してください。
- 退職・異動の前に、データのダウンロードや、他の方をプロジェクト管理者に加えるなどの引き継ぎをお願いします。退職後に大学側でデータを移すことはできません。
- 拡張ストレージは利用規約に基づいて提供しています。鹿児島大学IDを失った場合などは、保存データが削除されます。



ログイン
rdm.nii.ac.jp



利用マニュアル・規約
センターWeb
「GakuNin RDM拡張ストレージ」

お問い合わせ
情報基盤統括センター IT相談室

info@cc.kagoshima-u.ac.jp